

## 放課後等デイサービス 事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和3年 3月 1日

事業所名 スタジオそら武蔵野

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係が適切であるか	6	2	0	・限られたスペースを有効活用するよう、個々の課題を念頭に置き、適切にスペースを使用する。
	②	職員の配置数は適切であるか	7	1	0	・児童発達管理責任者、児童指導員、保育士がそれぞれ適切に配置されている。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	6	2	0	・大きな段差はないが、出入口はあまり大きくない。利用者によって入室の支援を実施している。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクルに広く職員が参画しているか	8	0	0	・午前、午後の開始時のミーティングで目的や療育内容を話し合い、終礼時に内容を振り返り情報共有を行っている。
	⑤	保護者向け評価表を活用するため等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向を把握し、業務改善につなげているか	8	0	0	・評価アンケートのすべてにはお応えできないが、貴重なご意見として精査して対応していく。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	8	0	0	・HPで公開している。
	⑦	第三者評価による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	4	1	3	・第三者からの評価は未実施なので、必要に応じて実施を検討する。
	⑧	職員の資質の向上のために、研修の機会を確保しているか	8	0	0	・スタッフの技術を高めるため、スタジオでの研修などを実施する。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	8	0	0	・計画を立てる際は保護者様のご意見、お子様のアセスメントした結果をもとに、お子様の状況を考慮し、適切な計画を立てるよう努めている。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	8	0	0	・社内共有のアセスメントツールを使用している。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	8	0	0	・イベントを行う際は、スタッフ内で相談し立案している。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	8	0	0	・個々の課題やその日の状態を考慮し、臨機応変にプログラム内容を変え、お子様が楽しく笑顔で活動できるよう工夫している。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題を決め細やかに設定して支援しているか	8	0	0	・通常プログラムを平日に実施すると共に、土日は学校体育やあおぞら療育を行い、祝日や長期休暇には随時イベントを実施している。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる放課後等デイサービス計画を作成しているか	8	0	0	・個々の状況や発達段階に応じて、対人関係などの社会性の取得、運動面や微細運動の取得を目標にして支援計画を立てている。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	8	0	0	・朝礼、昼礼を行い、その日の支援内容や役割分担等の確認を行っている。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	8	0	0	・支援終了後に終礼を行い、お子様の状況変化や、保護者様のご要望等を報告し、共有している。また、業務日誌への記入や朝礼時に前日の振り返りを行う等、休みの職員との共有もやっている。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	8	0	0	・日々の療育内容や子供の様子、変化等を、サービス提供記録に記録している。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	8	0	0	・定期的にモニタリングを行い、課題の達成度や、これからの課題を確認し、保護者様のご要望なども聞き取っている。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っているか	8	0	0	・個々の状況や発達段階に応じて支援計画を立てている。

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参加しているか	8	0	0	・管理者・児発管が出席している。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時対応、トラブル対応)を適切に行っているか	5	3	0	・現在、保護者との間での情報共有が主となっている。学校とは必要に応じて連携を取っていく。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	5	3	0	・必要に応じて連携を取っていく。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所との間で情報共有と相互理解に努めているか	5	2	1	・必要に応じて連携を取っていく。
	24	学校卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供しているか	5	3	0	・対象児の利用がない。機会ができれば共有の体制を構築する必要がある。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	3	3	2	・協議会などの機会で行っている。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	0	2	6	・今後より交流を図ることが出来る機会を検討していく。
	27	地域自立支援協議会等へ積極的に参加しているか	0	4	4	・管理者・児発管が参加している。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	8	0	0	・フィードバック時に、療育内容やお子様の変化をお伝えすると共に、お子様の様子や保護者様からのご要望等をお聞きしている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニングなどの支援を行っているか	6	2	0	・フィードバック時などで、ご相談があった際には、的確にお答えできるよう努めている。
保護者への説明責任等	30	運営規定、支援の内容、利用者負担について丁寧な説明を行っているか	8	0	0	・契約時、また必要に応じて随時説明を行っている。
	31	保護者からの子育ての悩みなどに対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	8	0	0	・フィードバック時などで、ご相談があった際には、的確にお答えできるよう努めている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催することにより、保護者同士の連携を支援しているか	1	1	6	・今後ニーズがあれば開催を検討していく。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制や整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	8	0	0	・苦情があった際は、実直に受け止め、速やかに対応すると共に、スタッフ間で共有し周知を徹底している。
	34	定期的に会報等を発足、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	8	0	0	・HPにてそら通信の更新を行なっている。
	35	個人情報に十分注意しているか	8	0	0	・鍵付きの書庫で厳重に保管している。
	36	障害のある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしているか	8	0	0	・お子様の特性に合わせて、絵カード等を使用しコミュニケーションをとっている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	1	4	3	・今年行っていないが、例年そらコンサートを実施している。
非常時の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	8	0	0	・マニュアルの策定・訓練の実施を行なっている。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練を行っているか	8	0	0	・避難訓練を実施している。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6	2	0	・定期的に事例検討などの研修を行い、虐待防止を徹底していく。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて組織的に決定し、子ども・保護者に事前に十分説明し了解を得たうえで計画に記載しているか	8	0	0	・契約時にやむを得ず身体拘束を行なう場合について説明を行なっている。
	42	食物アレルギーのある子どもについて医師の指示書に基づく対応がされているか	5	0	3	・食物を扱うイベント実施の際は、事前に保護者に確認を取っている。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	8	0	0	・日々終礼で確認を行っている。

この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。